

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	030301080	予算コード	01080900	従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価		一次評価	B
事務事業名	児童手当等給付事業			正規職員数	0.8	国庫支出金	1,082,664	有効性	A	支給対象児童が減少しているが、平成29年1月から新システム導入と、個人番号による情報連携の導入が開始され、それに対応した事務運用を検討し改善中。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数	0	府支出金	239,260				
根拠法令等	法定受託事務			臨時職員数	1.16	市債	0	効率性	C		
	■法律・政令・省令			歳出(千円)		その他	0				
	児童手当法、児童手当法施行令、児童手当法施行規則			人件費総額	7,575	一般財源	248,379	妥当性	A		
						減価償却費	0				
						事業費	1,562,728	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)		1,570,303	緊急性	D	事務事業実施内容		
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)		15,607			平成24年4月より子ども手当から児童手当へ。所得制限が導入される。その後、引き続き対象者への支給事務を実施。		
対象				活動指標		H29実績		公的関与	A		
特定の市民		対象数	7255	受給者数		7,255.0		実施主体・委託化	B		
満15歳以後の最初の3月31日までの間にある児童（中学校修了前の児童）				支給対象児童数		11,973.0					
事業の内容								他の事務事業との関連	A		
児童手当とは、家庭等における生活の安定に寄与するとともに次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とし、児童を養育している者に支給するもの。				成果指標		H29実績		透明性	B		
				受給者数		7,255.0					
				支給対象児童数		11,973.0		財政健全化計画	該当なし		
								財政健全化の取組	該当なし		
事業の目的				コスト指標		H29実績		改革改善プラン達成度	該当なし		
次代の社会を担う児童の健やかな成長に資すること。				1人（受給者）あたりの事業費		216,444.2					